

## 施策案に対する意見等の概要と意見等に対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	<p>我が国が最重要課題と位置付けている人口減少、深刻化が増している現状、具体策を打ち出しても歯止めがかかりません。平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、取り組んできてなかなか成果が出ていないようです。国はなぜ本当の原因を真剣に考え実行しないのか不思議です。一番大切なのは、子孫繁栄の価値観を家庭が中心となり、学校、地域で教育を通じて意識改革をすることです。正常に考えるに、努力すれば3人の子供を育てられる環境は日本にあります。身体の事情やその他諸事情で子供を産めない人には人権プライバシーを特別に配慮し、国策で3人っ子政策を打ち出すべきです。</p> <p>国がやらないのなら市策で思い切って打ち出すのもいかなものでしょうか。こういう意見を言うと排除する世の中は間違っています。深刻なのだから分かってほしいといえば、納得せざるを得ないでしょう。</p> <p>皆、自分中心で自分勝手すぎるのでは。高崎は人口増加を目標としています。太田市も増加しているので、もっと増加の目標を出すべきです。勇気ある政策を出さなければ、また歯止めがかからず解決しません。</p>	<p>2008年をピークに国の人口はすでに減少に転じており、2060年に1億人程度の人口を確保することが目標とされています。また、国のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」によれば、2010年と2050年を比較した際に、全国の98%の地点で人口減少に転じるものと推測されています。</p> <p>当市の人口ビジョンにおいても、現状のままでは2040年に19万4千人程度に人口減少することが見込まれており、また、結婚や出産を望まないなどライフスタイルが多様化していることを踏まえると、市としては、まず、女性や若者の雇用機会の確保といった「しごと」の観点と、子育て施策の充実等による「ひと」の観点から、合計特殊出生率を1.80まで押し上げるとともに、生産年齢人口・年少人口の転入を推計値よりも毎年100人増加させることによって、2040年に人口20万人を確保したいと考えております。</p> <p>また、第2期総合戦略では、新たな視点として「関係人口」を加え、定住人口に限らず人の流れを創出することによって、地域の活性化を図っていきたいと考えています。</p>